

船舶事故調査報告書

平成29年6月15日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	ウェイクボーダー負傷
発生日時	平成28年8月11日 16時05分ごろ
発生場所	京都府宮津市田井海水浴場沖 宮津黒埼灯台から真方位230° 2,500m付近 （概位 北緯35° 35.0′ 東経135° 14.0′）
事故の概要	プレジャーボート ^{ラハйна} LAHAINAは、転倒したウェイクボーダーに接近中、ウェイクボーダーに接触し、ウェイクボーダーが負傷した。
事故調査の経過	平成28年8月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート LAHAINA、5トン未満 250-23300京都、個人所有 5.60m (Lr) × 2.35m × 1.27m、FRP ガソリン機関、110.3kW、平成3年6月
乗組員等に関する情報	船長 男性 55歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成11年7月6日 免許証交付日 平成26年5月8日 （平成31年7月5日まで有効） ウェイクボーダーA 女性 17歳
死傷者等	重傷 1人（ウェイクボーダーA）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 低潮時
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人2人（以下「同乗者A」、「同乗者B」という。）ほか2人を乗せ、田井海水浴場の砂浜から約150～200m沖でウェイクボーダーAをけん引していた。 船長は、ウェイクボーダーAが転倒したので、ウェイクボーダーAを收容して遊走を終えようと思い、約30～40km/hの対地速力で右旋回した後、船首を南西方に向けて右舷船首方にウェイクボーダーAを見ながら接近した。 船長は、右舷船首方約20mにウェイクボーダーAを見る状況とな

	<p>ったとき、クラッチを中立とした。</p> <p>船長は、本船が、前進行きあしでウェイクボーダーAに接近中、旋回した際に生じた航走波を右舷側から受けて横揺れした際、本件ウェイクボーダーAを見失ったので、探していたところ、平成28年8月11日16時05分ごろ同乗者Aから「コン」という音がしたことを聞いた。</p> <p>同乗者Aは、海中に飛び込み、負傷していたウェイクボーダーAを本船に引き寄せた後、船長と共にウェイクボーダーAを本船に引き上げた。</p> <p>同乗者Bは、119番通報して救急車を要請した。</p> <p>ウェイクボーダーAは、救急車及びドクターヘリで病院に搬送され、左臀部大腿下腿裂創等と診断された。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図 参照)</p>
<p>その他の事項</p>	<p>船長は、本船の操船経験が約50回あり、本船でウェイクボーダーをけん引した経験が約20～30回あった。</p> <p>船長は、ふだん、ウェイクボーダーを収容する際、右旋回した後、クラッチを中立として前進行きあしでウェイクボーダーを右舷側に見るようにして通過し、本船を停止させていた。</p> <p>船長は、ふだんよりもウェイクボーダーに接近し過ぎたと本事故後に思った。</p> <p>ウェイクボーダーAは、本事故当時、水着の上に救命胴衣を着用し、ウェイクボード用のブーツを履いていた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、田井海水浴場沖において、船長が、転倒したウェイクボーダーAを収容しようとし、クラッチを中立として接近する際、ウェイクボーダーAに対する見張りを適切に行っていなかったことから、見失ったウェイクボーダーAに接触し、ウェイクボーダーAが負傷したものと考えられる。</p> <p>船長は、左舷船尾方から風力3の風を受ける状況下、ウェイクボーダーAを右舷船首方に見る態勢で接近していたことから、本船が航走波を受けて横揺れした際にウェイクボーダーAを見失った可能性があると考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、田井海水浴場沖において、船長が、転倒したウェイクボーダーAを収容しようとし、クラッチを中立として接近する際、ウェイクボーダーAに対する見張りを適切に行っていなかったため、見失ったウェイクボーダーAに接触したことにより発生したものと考えられる。</p>

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 転倒したウェイクボーダーに接近する場合は、安全な距離を保って接近すること。
-----------	---

付図1 事故発生経過概略図

